

2005^年FLASH

平成17年

2005年の当社グループの動きを写真と年表で振り返ってみました。

開発案件等はプレスリリース日を基準に掲載しています。

2004年

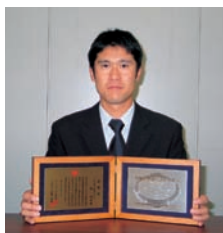
12月

10日 平成16年度「第1回LCA日本フォーラム表彰式」功労賞を受賞

当社部長の高松信彦さん（IISI/世界鉄鋼協会 技術・環境部長として出向中）が平成16年度「第1回LCA日本フォーラム表彰」の「功労賞」を受賞した。

20日 カナダ原料炭シッパー（EVCP）と権益取得・新規長期契約について基本合意
当社は韓国POSCO社とともに、EVCP社と、カナダ・エルクビュー炭鉱の権益をそれぞれ2.5%取得。拡張・増産されるエルクビュー炭を両社が引き取ることに関し、基本合意に達した。

22日 東海REXの林尚克選手（外野手）が2004社会人野球ベストナインを受賞



24日 (株)日鉄電磁テクノISO14001認証取得・ホームページ開設
(株)日鉄電磁テクノは、全社でISO14001の認証を取得。また12月1日からHPを開設した。



27日 (株)中山製鋼所と棒線製造新会社の設立、および(株)中山製鋼所の株式を取得
(株)中山製鋼所と棒線圧延を行う製造会社を共同出資により設立することに基本合意し、あわせて新日鉄による中山製鋼所の株式の取得について合意した。

12月 世の中の主な出来事

- 1日 羽田空港の第2旅客ターミナルが開業。
- 7日 OECD調査で日本の15歳の学力低下が判明。読解力や数学的応用力で平均点が下がる。

2005年

01月

7日 中央合同庁舎第7号館整備等事業における建設工事の着手
都市再生プロジェクト（1次決定）で、国内最大規模のPFI事業「中央合同庁舎第7号館整備等事業」を着工した。



17日 八幡「東田たたらProject」に小学生が参加
八幡の東田第一高炉史跡広場で“たたら製鉄”の体験授業の実験操作が行われ、新日鉄社員に加え、北九州市立中原小学校5年生、高校生、大学生、市民が参加した。



21日 住友金属工業(株)和歌山製鉄所の鉄源設備共同活用を検討開始

東アジア連合鋼鉄(株)へ当社が資本参加することを前提に、住友金属工業(株)和歌山製鉄所の鉄源設備の共同活用について検討を開始することに合意した。

22日 アルセロール社とのグローバル戦略提携、満4年。



24日 新津田鋼材(株)および(株)三井物産コイルセンター再編
新津田鋼材(株)と(株)三井物産コイルセンターを商社事業と薄板加工事業に再編し、あわせて新津田鋼材(株)の三井物産(株)完全子会社化および(株)三井物産コイルセンターへの当社出資比率向上に合意した。





26～28日 三村社長、中国・北京を訪問

三村社長が中国・北京を訪問。中国における経済調整の進捗状況、今後の経済の見通し、中国鉄鋼業界における環境対策への取り組み等について中国の要人と意見交換を行った。

28日 PCB汚染土壌浄化実証試験の実施

当社と松下電器産業(株)、三菱重工業(株)、日鉄運輸(株)は、PCB汚染土壌の浄化について実証試験を5月から3カ月間実施することを発表した。

31日 名古屋 薄板工場1CGLで月間生産量日本新記録達成

名古屋製鉄所1号溶融亜鉛めっきラインでは、合金化溶融亜鉛めっき鋼板の月間生産量日本新記録となる51,559トン／月を達成した。

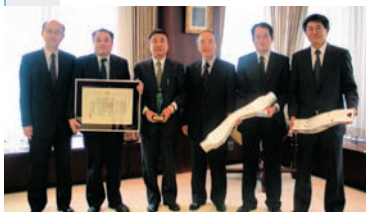
1月 世の中の主な出来事

- 13日 第132回芥川賞を阿部和重氏、直木賞を角田光代氏が受賞。
- 18日 日本鉄鋼連盟が2004年の粗鋼生産量が1億1,267万トンと過去3番目の高水準になったと発表。
- 27日 台湾高速鉄路が日本製新幹線の試験走行を開始。

02月

2日 高温成形用5000系アルミ合金が、日経優秀製品・サービス賞「最優秀賞」受賞

当社と古河スカイ(株)が本田技研工業と共同で開発したアルミニウム合金が、日経優秀製品・サービス賞の「最優秀賞」を受賞した。



9日 君津製鉄所鍛接鋼管造管量500万トン達成

昭和44年の操業開始以来、35年7カ月での達成。本数に換算すると約2億本で、地球の約23.5周分に相当する。

15日 三菱製鋼(株)の休止電気炉設備購入により特殊鋼一貫能力が拡大

室蘭製鉄所で2001年12月に休止した三菱製鋼(株)の電気炉設備を購入・再稼働するとともに、三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)の圧延余力を活用することで基本合意した。

17日 「スーパーダイヤ」の海外販売(建材分野)で、豪州ブルースコープスチール社と提携

ブルースコープスチール社と当社はアジア9カ国および豪州・ニュージーランドの建材分野を対象に、「スーパーダイヤ」を、ブルースコープの建材加工拠点を通じて加工・販売する提携を行うことで合意した。

22日 リオドセ社とイタピラ粉鉱・カラジャス粉鉱価格について合意

リオドセ社とイタピラ粉鉱およびカラジャス粉鉱の2005年度価格(FOB)を対前年度71.5%値上げすることで合意した。



23日 POSCO E&C社と「韓国内溶融炉包括ライセンス供与契約」を調印

当社がPOSCO E&C社と韓国内ごみ直接溶融炉包括ライセンス供与契約について、調印式を行った。

2月 世の中の主な出来事

- 8日 ライブドアがニッポン放送株の35%を取得、フジサンケイグループに事業提携申し入れと発表。
- 16日 先進国に温暖化ガス排出削減を義務付ける京都議定書が発効。
- 17日 中部国際空港が愛知県常滑市に開港。

03月

1日 「バイオアタック・ダイエットシステム」が平成16年度優秀省エネルギー機器表彰で会長賞受賞



環境エンジニアリング(株)の「バイオアタック・ダイエットシステム」が平成16年度優秀省エネルギー機器表彰の会長賞を受賞。

4日 IR説明会開催

約190名のアナリスト・機関投資家を対象に、当社の今年度決算見通しおよび配当方針に関する説明を行った。



4日 日鉄コンポジット(株)のCFRP製品を採用したJR新幹線の試作車両が公開

平成19年の運転開始を目指す東海道・山陽新幹線の次世代車両「N700系」の試作車両向けに、日鉄コンポジット(株)の3種類のCFRP製品が本格採用された。

7日 JHFC 愛・地球博 水素ステーション開所式を開催

当社と東邦ガス(株)および太陽日酸(株)が愛・地球博の瀬戸会場で進めてきた2基の水素ステーションの開所式を開催した。



12日 アルミナブラスト仕上げチタンで大谷美術館賞を受賞

「伝統美・夢素材の屋根アルミナブラスト仕上げのチタン屋根・外装材」で、チタンとして初めて平成16年度大谷美術館賞を受賞した。





16日 三井鉱山(株)の株式取得
当社と大和証券SMBCCI(株)、住友商事(株)は、三井鉱山(株)の普通株式およびA種優先株式を取得することに合意した。

21日 「東田天然ガスコジェネ発電所」が竣工
東田コジェネ(株)は、特区による規制緩和の一環として自営線による電力供給を行う「東田天然ガスコジェネ発電所」の竣工を行った。当社が施設を賃貸・運営し、電力供給を行う。

22日 名古屋製鉄所が「2005愛知環境賞金賞」受賞
名古屋製鉄所が「中部における使用済み容器包装プラスチックのリサイクル事業」で、2005愛知環境賞金賞を受賞した。



24日 北海道PCB廃棄物処理施設設置工事の設計業務を受注
当社、(株)日本製鋼所および(株)神鋼環境ソリューションは、日本環境安全事業(株)が公告した「北海道PCB廃棄物処理施設設置工事」(室蘭市)に3社ジェント・ベンチャーとして応募し受注した。



30日 住友金属工業(株)の鉄源設備を共同利用、相互の株式追加取得等の検討について合意



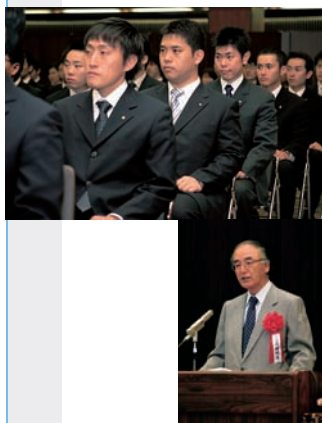
当社、住友金属工業(株)、(株)神戸製鋼所は、東アジア連合鋼鉄(株)の増資引き受けに関する契約を締結。住友金属の鉄源設備を共同利用など効率的な体制の整備とさらなる連携の深化・拡充を図る。

3月 世の中の主な出来事

- 20日 福岡・佐賀で震度6弱の地震が発生。
- 25日 愛知万博(愛・地球博)開幕。

04月

1日 本社と各所で入社式
311名の新入社員が入社した。



1日 君津製鉄所創業40周年

1日 大分製鉄所がホームページを開設

4日 フィリピンで高速道路建設工事の起工式
当社と(株)間組、大成建設(株)との共同企業体でフィリピン共和国ルソン島における高速道路建設工事請負契約を締結し、両国首脳出席のもと起工式を行った。



6日 東京製造所 創立70周年
鋼管事業部東京製造所で創立70周年の記念祝賀会を開催した。



7日 新日鉄化学(株)が有機EL発光材料の開発でADY2005グランプリ受賞
新日鉄化学(株)、UNIVERSAL DISPLAY CORPORATION、東北バイオニア(株)、バイオニア(株)4社は世界に先駆けて有機発光材料の開発に成功、製品化に至り、「アドバンスト ディスプレイ オブザ イヤー 2005」の部品・材料部門でグランプリを獲得した。

8日 三村社長、宝鋼新日鉄自動車鋼板有限公司を訪問
三村社長が宝鋼新日鉄自動車鋼板有限公司を訪問し、工場視察、幹部との会談、新日鉄派遣者への激励を行った。



11日 日鉄溶接工業(株)を完全子会社化
日鉄溶接工業グループの一層の競争力強化を狙い、日鉄溶接工業(株)を完全子会社化した。

14日 「地球環境会議が選ぶ優秀企業賞」を受賞
第14回地球環境大賞「地球環境会議が選ぶ優秀企業賞」を受賞。広畑で全国発生量の約12%に相当する年間約12万トンの廃タイヤをリサイクルする体制を構築した点が評価された。



14日 「堺浜」に愛称が決定



昨年末公募した堺第二遊休地の愛称が、応募総数5,515件の中から、「堺浜」に決定した。

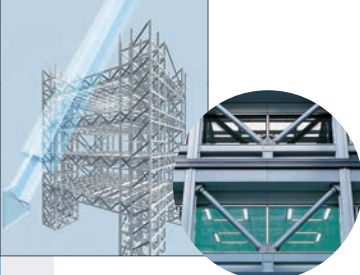
18日 経済同友会で三村社長が地方財政改革委員会委員長として提言
(社)経済同友会は地方財政改革に関する政策提言を発表した。



21日 (株)中山製鋼所との棒線製造
新会社「株式会社NS棒線」
が発足

27日 溶融亜鉛めっき鋼板製造設
備(CGL)を広畑に新設
広畑の溶融亜鉛めっき鋼板
製造設備(CGL)の新設投資
を決定した。

28日 アンボンドブレースが「市村
産業賞」受賞
「アンボンドブレースの発明と
高性能鋼による革新的耐震
技術の開発」の件名で、第
37回(平成16年度)市村産
業賞貢献賞を受賞した。



30日 君津・第二製鋼工場 脱りん
処理炉が稼働

4月 世の中の主な出来事

- 1日 日本とメキシコの自由貿易協定(FTA)が発効。
- 1日 預金などの払戻額を元本1,000万円とその利息までとするペイオフが全面的に実施。
- 9日 北京などで大規模な反日デモが発生、日本大使館などに投石。
- 25日 兵庫県尼崎市でJR福知山線の上り快速電車が脱線。犠牲者107人。

05月

11日 土木向け製品で業界初のエ
コマークを取得



「土木製品」で、鉄鋼製品として業界初のエコマークを取得し、低排土鋼管杭等6製品がエコマーク認定商品となった。

13日 (株)スペースワールドの再生手
続開始の申し立て

当社の子会社である(株)スペースワールドは、平成17年5月13日付で福岡地方裁判所小倉支部に民事再生法に基づく再生手続開始の申し立てを行った。

15日 国内初 君津・厚板工場累
計圧延量5,000万トン達成
君津・厚板工場が操業開始から累計圧延量5,000万トンを達成。昭和43年3月の操業開始以来37年間での達成。国内厚板工場の中で、初めて5,000万トンに到達した。



19日 サイアム・ユナイテッド・ス
ティール、「タイ総理大臣賞」
を受賞

当社が筆頭株主として出資しているタイの冷延鋼板メーカーであるサイアム・ユナイテッド・スティールが2005年度タイ総理大臣賞(生産性部門)を受賞した。

26日 POSCOからコークス乾式設
備(CDQ)を受注

当社と双日(株)はポスコ建設(POSCO E&C)と共同で、ポスコからCDQを2基同時受注した。

27日 北九州エコタウン複合中核
施設の竣工式を開催

北九州エコエナジー(株)はガス化溶融炉や発電設備をあわせた「複合中核施設」の竣工を行った。



29日 皇太子殿下が(財)新日鉄文
化財団主催公演にご臨席
昨年に引き続き、(財)新日鉄文化財団およびテレビマンユニオン主催の「ヴィオラスベース2005」公演にご臨席され、ホールの響きと演奏を楽しまれた。

13~29日 紀尾井シンフォニエッタ
東京がドレスデン音楽祭で大
成功

ドイツ最大の音楽祭「ドレスデン音楽祭」に紀尾井シンフォニエッタ東京が招聘され、4公演を行い大成功を収めた。



5月 世の中の主な出来事

- 10日 財務省が2004年度の国際収支速報を発表。経済収支の黒字額は2年連続で過去最高。

06月

9～10日 三村社長がニューヨーク事務所を訪問



13日 中国/済南鋼鉄向けコークス乾式設備 (CDQ)を受注
中国第9位の高炉一貫メーカー済南鋼鉄からCDQを受注した。

13日 中国/馬鞍山鋼鉄向け転炉OG設備を受注
中国第5位の高炉一貫メーカー馬鞍山鋼鉄から転炉OG設備を2基同時受注した。

15日 鋼鉄製橋梁工事に関し東京高等検察庁より起訴

16日 新日鉄、AMCI社保有の豪州炭鉱権益取得および原料炭長期引取り契約が発効
米国AMCI社保有の豪州原料炭炭鉱カーボロ・ダウンズおよびグレンニス・クリークの権益 (各5%) 取得に伴い、両炭鉱から産出される原料炭の長期引取り契約が発効した。

23日 東京製造所が「板橋区環境保全賞」を受賞
幅広い活動の展開による環境保全への協力が評価され、「平成17年度 第7回 板橋区環境保全賞」(環境マネジメント部門)を受賞した。



30日 君津製鉄所厚板工場 No.5加熱炉稼働

6月 世の中の主な出来事

8日 2006年W杯ドイツ大会アジア最終予選で日本が北朝鮮に2-0で完勝。3大会連続の出場を決めた。

07月

1日 「高成形性自動車用防錆鋼板の発明」が全国発明表彰の発明賞を受賞
平成17年度の全国発明表彰式で、「高成形性自動車用防錆鋼板の発明」(L処理技術)が発明賞を受賞した。



1日 日本グラファイトファイバー(株)の出資比率を変更
当社と新日本石油(株)は日本グラファイトファイバー(株)への出資比率を当社66.6%、新日本石油(株)33.4%に変更した(従来、各50%)。

4～5日 「日中鉄鋼業 環境保全・省エネ先進技術交流会」を開催
三村社長は、日本鉄鋼連盟と中国鋼鉄工業協会の共催で行われた「日中鉄鋼業 環境保全・省エネ先進技術交流会」に鉄連会長として参加し、覚書に調印した。



11日 (株)フロンティアエネルギー新潟 新潟発電所の竣工式
当社、新日本石油(株)、三菱商事(株)3社の共同出資による(株)フロンティアエネルギー新潟が新潟県新潟東港地区において建設工事を進めてきた発電所が営業運転を開始した。

17日 大分製鉄所シーバースの主原料受入量が累計5億トン達成
1971年に鉄鉱石を受け入れて以来34年の歳月を経た大分製鉄所シーバースの主原料受入量が累計5億トンを達成した。



19日 紀尾井ホールで新日鉄音楽賞「贈呈式」「受賞記念コンサート」を開催
フレッシュ・アーティスト賞はヴァイオリン奏者の植村理葉さん、特別賞は演出家の栗山昌良さんが受賞した。

28日 中京製線(株)、(株)チタックの事業統合に向けた基本合意成立
当社、中京製線(株)、(株)チタック、伊藤忠丸紅鉄鋼(株)は、中京製線(株)および(株)チタックの伸線事業の統合に向け基本合意した。

7月 世の中の主な出来事

5日 郵政民営化法案が衆院本会議で5票差で可決。
6日 国際オリンピック委員会 (IOC) が総会で2012年夏季五輪開催都市をロンドンに決定。
7日 ロンドン中心部で大規模テロが発生。
14日 国土交通省がアスベストによる健康被害問題で都道府県などに実態調査を指示。
26日 野口聡一さんが搭乗するスペースシャトル「ディスカバリー」が米ケネディ宇宙センターから打ち上げ。

08月

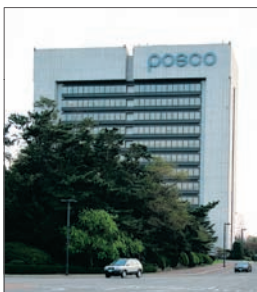
1日 君津製鉄所で「教員民間企業研修」を実施

今年も君津製鉄所を会場に、「教員民間企業研修」を実施した。今回は茨城県美浦村の先生方6名が参加した。



2日 (株)POSCOとの戦略的提携契約を更に5年延長

当社と(株)ポスコは今後少なくとも5年間、戦略的提携契約を延長することで合意した。



25日 自動車・電機・OA分野向け電気亜鉛めっき鋼板の「クロメート処理」の製造を中止
電気亜鉛めっき鋼板(当社商品名:ジンコート)のクロメート処理の製造を2006年3月末までに中止することを決定した。



27日 柔道・吉永選手が全日本実業個人で優勝

全日本実業柔道個人選手権大会で吉永慎也選手が81kg級で優勝した。

8月 世の中の主な出来事

22日 東京証券取引所第1部の時価総額が4年3カ月ぶりに400兆円台を回復。

24日 つくば市と秋葉原をつなぐ「つくばエクスプレス」が開業。

29日 米国で大型ハリケーン「カトリナ」が猛威。死者数千人規模。

09月

1日 戦略特許発明表彰 11名の社員に金賞

当社の競争力強化に貢献する戦略特許を発明した11名の社員に、平成17年度戦略特許発明金賞が授与された。



1日 日本グラファイトファイバー(株)、中小企業無災害記録『銀賞』とSAMPE Japan『製品・技術賞』をダブル受賞



1日 日本グラファイトファイバー(株)を日鉄コンポジット(株)の子会社化

2日 第1回ものづくり現場力向上JK大会開催

当社初となる全社JK大会を本社2階ホールで開催。全社から第一線でJK活動に取り組む社員およびそれを支援してきた社長以下役員・管理職、約400名が参加した。



5日 当社のリサイクル技術2件が「愛・地球賞」をダブル受賞

当社の「製鉄インフラを活用した使用済みタイヤのリサイクル」(広畑)および「WARC方式一転炉法による使用済み自動車リサイクル」(八幡、西日本オートリサイクル(株))の2件のリサイクル技術が「愛・地球賞-Global 100 Eco-Tech Awards」(主催:財団法人2005年日本国際博覧会協会)をダブル受賞した。



6日 ニッテススーパーフレーム工法の説明会が盛況

本社2階ホールで「NSF工法3階建耐火建築説明会」が実施され、200人が参加者した。

8日 当社による日鉄物流(株)、製鉄運輸(株)の完全子会社化および日鉄物流(株)と製鉄運輸(株)の事業統合

当社グループの物流部門で中核的な役割を果たし、当社との戦略共有が極めて重要である日鉄物流(株)、製鉄運輸(株)を2005年12月に完全子会社化し、2006年4月に事業統合することに合意した。統合後は同年10月を目標に構外輸送・一般営業を行う事業持ち株会社と構内作業を行う地域会社に再編する。

9日 IR説明会開催

約180名のアナリスト、機関投資家を対象に、IR説明会を開催。平成17年度業績見通しが過去最高益を更新する見通しであること、当社技術の強みなどについて説明した。



12日 タイ、インドネシアでターンキー受注

タイPTT-EP社向け天然ガス開発プラットフォームおよび海底パイプライン、並びにインドネシアTotal E&P Indonesia社天然ガス開発プラットフォームのターンキー受注

13日 「環境・社会報告書
～Sustainability Report～
2005」を発行

「社会性報告」の側面を大幅に拡充し、タイトルを「環境・社会報告書～Sustainability Report～2005」として発行した。

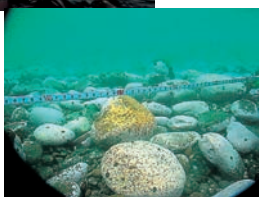
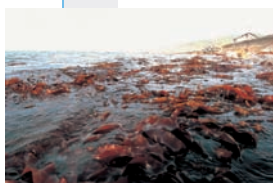


18日 釜石 線材工場、累計生産
2,000万トン達成

棒線事業部釜石製鉄所線材工場は1961年10月の稼働開始以来、40年以上にわたり、スチールコード用線材に代表される高品質線材の生産を続け、累計生産量2,000万トン達成した。



20日 鉄鋼スラグと腐植物質からなる
海域施肥材料を用いて実
海域での磯焼け改善効果を
確認



20～22日 新日鉄住金ステンレス(株)、
ステンレス万博(上海)に出
展



中国・上海で行われたステンレス万博に出展し、薄板、厚板、棒線それぞれの高機能・高付加価値製品を展示、ブースは常に盛況だった。

21日 中国における自動車用鋼管
二次加工事業会社の設立で
合意

当社、旭鋼管工業(株)、三井物産(株)および三井物産(香港)有限公司は中国広東省広州市に自動車用引抜鋼管の製造・販売を行う事業会社「広州旭鋼管有限公司」を設立することで合意した。

23～25日 室蘭アイアンフェスタ
開催



「アイアンフェスタ2005」が開催され、メインイベントとして鉄の彫刻家 青木野枝さんを講師に招きワークショップを実施した。24、25日には工場見学会も行われた。

28日 鉄鋼圧延用鑄造ロール製
造・販売の共同事業化

当社と住友金属工業(株)は2006年4月から、日鉄ハイパーメタル(株)と(株)カントクの圧延用鑄造ロールの製造・販売事業を統合し、共同事業化する基本方針に合意した。



30日 (株)日鉄技術情報センター「日
本その姿と心」CD-ROM版
登場

第7版を重ねるロングセラー書籍「日本その姿と心」のCD-ROM版(4カ国語対応)が新たに登場した。

30日 アニュアルレポート2005発
行

巻頭に新たに特集を掲載し、当社の強みである鉄の最先端技術をPR。デザイン上の工夫も図り、内容を充実させた。(英文は10月31日発行)



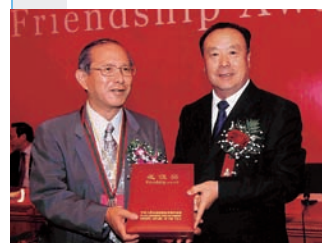
9月 世の中の主な出来事

- 1日 日本とタイが自由貿易協定(FTA)を核とする経済連携協定の締結で正式合意。
- 11日 第44回衆院選で自民が296議席を獲得して圧勝。
- 25日 愛知万博閉幕。総入場者数は2,204万人に。

10月

1日 2005年度「中華人民共和
国友誼奨」を受賞

エンジニアリング事業本部プラント・環境事業部の野宮好堯氏が、中国鉄鋼業の省エネルギー・環境保護に対する貢献が高く評価され、2005年度「中華人民共和国友誼奨」を受賞した。



3日 学習絵本シリーズ第5巻目
『夢みる街の“新・モノリ
リ”』を発行

テーマは鉄づくりが街づくりと密接に関わっていること、そして鉄鋼製品が街づくりに大いに貢献していることの2点をアピールし、大好評。



3日 (株)新日鉄都市開発の「芝浦
アイランド グローヴタワー」が
(財)日本産業デザイン振興
会主催の2005年度グッドデ
ザイン賞(コミュニケーション
デザイン部門)を受賞

6日 当社と日本下水道事業団、
北九州市/北濃浄化センター
でバイオマス燃料化実証実
験開始

11日 支店初のホームページを開設
北海道支店が支店初のホームページを開設した。



16日 九州国立博物館が開館
当社の鋼材とチタンが使用された九州国立博物館が開館し、連日予想を超える入館者で賑わった。



17日 インドネシアSSWJ (サウススマトラ・ウエストジャワ) プロジェクト(フェーズ1)を受注
インドネシアガス公社 (PGN) から、スマトラ島のパガルデワガス田で生産する天然ガスを、ジャワ島西部の最終需要家まで輸送するプロジェクトのうち、海底パイプライン部／約105kmを受注した。(続いて11月28日には陸上パイプライン部／約50kmを受注した)

17日 太平起業(株)と(株)エヌエス保険サービスが合併 (2006年4月)を発表

17日 『新日鉄技法』(No.383「新素材特集」)発行



18日 タイPTT-EP社アーティットフィールドにおける天然ガス開発プラットフォームおよび海底パイプラインを受注

19日 大分サッカー部が初の全国優勝
第41回全国社会人サッカー選手権大会で大分サッカー部が初優勝した。



20日 中国におけるフロン処理 CDM事業の取り組み
三菱商事(株)と共同で、地球温暖化ガス削減に向けて、中国において世界最大のクリーン開発メカニズム (CDM) 事業に取り組むこととなり、中国側パートナーが同国政府に承認申請を行った。



21日 北海道支店「北海道新日鉄グループ展2005」を開催
昨年に引き続き第2回目のグループ展が開催され、700名近い来場者を迎え大盛況だった。

10月 世の中の主な出来事

- 1日 日本道路公団など道路関係4公団が民営化。
- 8日 パキスタン・カシミール地方でM7.6の地震が発生。
- 17日 プロ野球パ・リーグのロッテが31年ぶりに優勝。
- 31日 第三次小泉内閣が発足。

8日 宝鋼新日鉄自動車鋼板有限公司を開業

当社、宝山鋼鉄株式有限公司およびArcelor社が昨年上海に設立した自動車鋼板合弁事業、宝鋼新日鉄自動車鋼板有限公司は、工場敷地内において約500名の来賓臨席のもと、開業式を盛大に行った。



11日 新日鉄化学(株)、九州製造所に新工場竣工

九州製造所内に建設中だったフレキシブル回路基板用無接着剤銅張積層板(2層CCL)「エスパネックス」の新工場を竣工した。



13日 科学技術館で「たたら製鉄」を実施



(財)日本科学技術振興財団・科学技術館と当社は、東工大 永田和宏教授を講師に「たたら製鉄」による鉄づくりイベントを実施、小学3年生以上の子供とその親40名が参加した。事前(10月29日)に「たたら製鉄」の体験前に君津製鉄所の見学を事前学習として行った。

11月

5日 大阪・茨木市立南中学校でものづくり体験「たたら製鉄」を実施

同校「The 4th 南中校区フェスタ2005」で行われた理科選択授業(谷口眞樹江教諭)に東工大永田和宏教授とともに協力した。「たたら製鉄」の体験後、12月1日には広畑製鉄所の見学を行った。



**14日 (株)神戸製鋼所加古川製鉄所
第2高炉の改修工事着工**

(株)神戸製鋼所加古川製鉄所第2高炉の3次改修工事の現地据付工事を本格的に開始する。2007年3月末の火入れを予定しており、新第2高炉は内容積が5,400m³となる(従来3,850m³)。

**17日 新日鉄グループ第1回技能
トライアスロン大会を開催**

八幡で新日鉄グループ全体初の技能トライアスロン大会を開催。全社から機械補修を専門とする30歳以下の若手が選抜され、日頃の技能を競い合った。



**19日 名古屋東海REXが全日本選
手権に出場**



**20日 柔道・吉永選手が講道館杯
で優勝**

講道館杯日本柔道体重別選手権大会で吉永慎也選手が81Kg級で優勝した。



**24日 名古屋、コークス炉1億トン達
成**

名古屋製鉄所コークス炉がコークス生産累計1億トンを達成した。記念釜出し式が佐々木望工場長はじめ関係者約70名の参加のもと行われた。

11月 世の中の主な出来事

4日 日経平均株価の終値が4年半ぶりに1万4,000円台を回復。

15日 天皇家の長女、紀宮さまと都庁職員の黒田慶樹さんの結婚式が開かれる。

17日 千葉県の建築設計事務所が建物の耐震性などを示す構造計算書を偽装したと国土交通省が発表。

26日 横網朝青龍が九州場所優勝を決め、7場所連続優勝。

**8日 新日鉄、住友金属工業(株)、
(株)神戸製鋼所の3社間で株
式を追加取得**

3月の連携施策を一層円滑・着実に検討し、実行することを目的とした相互の株式取得を進め、予定していた取得を完了した。

**11日 紀尾井シンフォニエッタ東京
山形公演**

KSTが山形県長井市でコリヤ・ブラッハーを迎え、第52回定期演奏会の興奮をそのままに再現(長井市民文化会館)。大好評を博した。



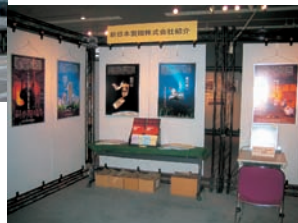
**13日 第16回新日鉄音楽賞受賞者
が決定**

フレッシュアーティスト賞にソプラノ歌手の木下美穂子さん、特別賞にチェリストの青木十良さんが選ばれた。



**3日 千葉県立現代産業科学館
写真展「鉄のまちの記憶と記
録」に協力**

千葉県立現代産業科学館で行われた写真展「鉄のまちの記憶と記録」に君津製鉄所が建設、操業開始以来の貴重な写真や映像等を出品し、協力した。



**15～17日「エコプロダクツ2005」
に出展**

東京ビッグサイトで行われた「エコプロダクツ2005」で、当社は、高耐食性鋼板「スーパーダイマ」と「水素社会への取り組み」を展示した。



**21日 平成17年度の発明改善表
彰決まる。**

発明改善によって当社社業に顕著な貢献をした社員に、平成17年度発明改善表彰社長賞が授与された。



12月 世の中の主な出来事

1日 東京株式市場で日経平均株価が終値で1万5,130円と、ほぼ5年ぶりに1万5,000円台を回復。